

青山シンフォニーオーケストラ

第31回定期演奏会

日時

2018年4月30日(月・祝) 14:00開演 (13:00開場)

会場

東京芸術劇場 コンサートホール

歌劇「オベロン」序曲

ウェーバー

交響組曲「スペイン奇想曲」

リムスキー=コルサコフ

交響曲二短調

フランク

指揮

汐澤 安彦 Yasuhiko Shiozawa

演奏

青山シンフォニーオーケストラ

チケット

S/2,000円 A/1,500円 B/1,000円(高校生割引=B/800円)

チケット販売

・東京芸術劇場ボックスオフィス(1階アトリウム内のインフォメーション)

・電話申込み 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)

・インターネット申込み (PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www.geigeki.jp/i/t/>

【お問合せ】045-713-3478(石田啓子) 【メールアドレス】webmaster@aoyama-symphony.com

演奏 青山シンフォニーオーケストラ

当団は1986年頃から青山学院管弦楽団OB有志が集まって室内楽等の演奏を楽しんでいましたが、1987年、指揮者に汐澤安彦先生をお迎えして以降、毎年汐澤先生の指揮で定期演奏会を開催しています。現在は市民オーケストラとして青山シンフォニーオーケストラらしい優雅で暖かい演奏を皆様にお届けしています。

2017年4月16日開催の定期演奏会は創立30周年に当たり、ベートーヴェン作曲交響曲第9番「合唱付き」を25年振りに演奏致しました。合唱237名とソリスト4名の皆様との演奏は大変新鮮で、印象深く心に残っています。団員一同、今後も継続した活動を目指して精進致しますので、どうぞ宜しくお願いを申し上げます。

指揮者 **汐澤 安彦** -しおざわ やすひこ-

東京芸術大学器楽科卒業、同専攻科修了。トロンボーンを山本正人、指揮を金子登の各氏に師事。当初、バストロンボーン奏者として読売日本交響楽団に在団、傍ら桐朋学園において斎藤秀雄氏より指揮法を学ぶ。1973年、民音指揮コンクール(現・東京国際音楽コンクール指揮部門)第2位。1975年、渡欧。ベルリン音楽大学、カラヤンアカデミーに学ぶ。帰国後、オーケストラ、吹奏楽、オペラ、合唱の各界で活躍。これまで、東京佼成ウインドオーケストラ、二期会合唱団、東京吹奏楽団など、各常任指揮者を歴任。また、東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル指揮者として永年、その任にあった。

1999年、日本吹奏楽学会／第9回日本吹奏楽アカデミー賞(演奏部門)受賞

東京吹奏楽団名誉指揮者。東京音楽大学名誉教授。青山シンフォニーオーケストラ常任指揮者

曲 目 ご 紹 介

ウェーバー 歌劇「オベロン」序曲

歌劇「オベロン」(または妖精王の誓い)はウェーバーの最後のオペラで、1826年に自身の指揮で初演されました。妖精の王・オベロンが真実の愛に目覚めるまでのファンタスティックな物語です。幕開けに相応しい軽快な曲になります。

リムスキー=コルサコフ 交響組曲「スペイン奇想曲」

1887年に作曲された5曲構成の管弦楽曲です。

- 1.「アルボラーダ(アストゥリアの舞曲)」
- 2.「タベの踊り(アストゥリアの民謡)」
- 3.「アルボラーダ(アストゥリアの舞曲)」
- 4.「シェーナとジプシーの歌(アンダルシア・ジプシーの歌)」
- 5.「アストゥリア地方のファンダンゴ」

フランク 交響曲ニ短調

フランクはフランスで活躍したベルギー生まれの作曲家です。この曲は1888年に完成したドイツ風の交響曲とも評され、短い旋律を全楽章に散りばめた循環形式による3楽章構成になります。冒頭から流れる渋い音色は、フランス音楽の華やかさとは対照的な印象ですが、フランクの魅力に溢れた作品です。



始めましょう、安らぎの住まい造り

株式会社ウィズホーム

代表取締役 星野 秀樹

横浜市西区北幸2-5-17 横浜NSビル2階

TEL.045-323-3051 <http://www.withhome.info>

問い合わせ info@withhome.info